

## ハレの日のうつわ

本展では、ハレの日に使われていた食の道具から、昭和30年代までの世田谷の人々の食生活を紹介します。

かつては、正月や盆など各家の年中行事、結婚式などたくさんの人を家に招いてもてなす「人寄せ」、お日待ちなどの村の行事といったハレの日には、「かわりもの」と呼ばれる普段とは異なる特別な料理を作りふるまい、共に飲食しました。「かわりもの」の盛りつけや飲食には、漆塗りの膳碗などの日常は使わない食器を使いました。こうした食器は高価で、また多くの数を揃える必要があったため、数軒の家や集落で共同購入したり、各家で所有するものをお互いに貸し借りしたりしていました。ハレの日を使う食器が、村の人々の社会生活のなかで受け継がれていた様子がうかがえます。

また、これらの食器や、餅つきの臼や杵など「かわりもの」を作る道具は、年に数回、特別な時に使われるものでした。そのため、普段はそれぞれの材質や形に応じて丁寧に仕舞われ、仕舞い方も各家や村の人々の間で受け継がれていたものでした。食器や道具の仕舞い方からは、道具を長く大切に使い続けていたくらいが感じられます。

世田谷の家々に遺されてきた食の道具から、食生活の移り変わりについて考えるきっかけとなれば幸いです。



### 関連行事

#### 解説

※事前申込不要

#### 農家の人寄せ－刈り上げの祝い－

日時：11/29(日)13時～14時

田植えや稲刈りの後、ねぎらいとして行われていた、人寄せの行事について解説します。お祝いのぼた餅のふるまひも(数量限定)。協力：民家園ボランティア

#### 再現展示・解説

※事前申込不要

#### 村の宴席－ハレの日の膳・碗・陶磁器－

展示期間：12/13(日)～1/8(金)

解説：1/1(金・祝)14時30分～15時

古民家の座敷に、喜多見「椀講・本印組」の膳碗20人前ほかを展示し、かつての宴席の様子を紹介します。

#### 実演

お供え物作り－農家の“ハレの日の食”－

① 11/14(土)10時～12時 恵比須講(そば)

② 12/20(日)10時～12時 正月準備・餅つき(鏡餅)

③ 1/10(日)10時～12時 小正月(蘭玉)

会場：① 次大夫堀公園民家園

②③ 岡本公園民家園(岡本2-19-1)



① 明治9年(1876)創立 喜多見「椀講・本印組」の食器(一部)／喜多見

③ ススキなどの草花を飾った白鳥徳利／喜多見(民間暦「十五夜」展示より)

⑤ ぼた餅を入れて配った重箱(再現)／等々力

② 刈り上げなどの「人寄せ」で使われた皿／玉川

④ 正月の料理を入れた切溜め／宇奈根

⑥ 漆塗りの椀の仕舞い方／大原